

(4) 英語外部検定試験の一般入試での利用について

佐賀大学では、2018年度一般入試より、積極的に英語の技能を活用し、主体的に考えを表現することができる学生を求めるとともに、英語のコミュニケーション能力を適切に評価する選抜方法を加えました。これにより志願者は、英語外部検定試験の結果を一般入試（前期日程及び後期日程）に申請できます。

① 申請できる検定試験（4技能受験必須）

- ・ 実用英語技能検定（CSE2.0）
- ・ TEAP（4技能）
- ・ GTEC（4技能）CBTタイプ含む。 ※オフィシャルスコアに限る。
- ・ TOEFL iBT

※実用英語技能検定（CSE2.0）については、4技能のCSEスコアが記載されているものであれば、CBT試験の成績も利用できます。

② 佐賀大学の利用方法

- ・ 検定試験の成績を換算表に基づき、大学入試センター試験（英語）の得点に換算し、大学入試センター試験の成績とみなして合否判定に利用します。
- ・ 検定試験の換算点が、大学入試センター試験（英語）の得点より高い場合は、検定試験の換算点を採用します。

③ 換算表

実用英語 技能検定 (CSE2.0)	TEAP (4技能)	GTEC (4技能) ※CBTタイプ含む	TOEFL iBT	⇒	センター試験 (英語) 得点率
2,200 以上	270 以上	1,140 以上	61 以上	⇒	90%
2,100 - 2,199	235 - 269	1,080 - 1,139	52 - 60	⇒	80%
2,000 - 2,099	220 - 234	1,010 - 1,079	45 - 51	⇒	70%

④ 大学入試センター試験の受験について

英語外部検定試験の利用を申請した場合においても、大学入試センター試験の英語（リスニングを含む）を受験しなかった場合は失格となります。

(5) 特色加点について（理工学部，農学部）

「特色加点」とは、志願者の積極的なアピールと高等学校入学以降の主体的な活動を喚起することを目的とした佐賀大学の新しい制度です。大学入試センター試験、個別試験などの合計点（以下、「当初配点」という。）とは別に、加点枠を設けます。

特色加点は、志願者が取り組んできた様々な活動や実績を踏まえた申請内容を評価の対象とします。申請された活動・実績の概要や取り組み状況、志望分野との関連性、入学後に期待できる主体的な学習行動や活動、根拠資料の内容等について、アドミッション・ポリシーの観点から評価します。志願者の申請を原則とし、申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。

申請する活動・実績は、高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や実績であれば何でも構いません。志望学部の学びを理解し、入学後に何を生かせるかなどをしっかりと考えた上で積極的にアピールしてください。申請内容を補完する根拠となる資料等も重要です。アドミッション・ポリシーで示す「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」、「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から総合的に評価します。活動・実績の具体例として、研究活動（探究型学習、課題研究、各種教育プログラムなど）、課外活動（部活動や生徒会活動など）、社会活動（ボランティア、地域活動など）、資格・検定取得、コンテスト等の実績、海外留学経験、その他主体的な活動などが考えられます。

「特色加点」として申請できる取組みの年限は、高等学校入学後のものとします。過年度卒業者は卒業後の取組みでも構いません。